



今月の題字

鈴木 滉一郎 君  
(大沢小3年)

# 町のわだい

## 5自治会に防災資機材を交付 町内全地区に配備を済ませる

2月20日、防災資機材の交付式が豊間根生活改善センターで行われました。これは、町が実施する自主防災組織育成事業によるもので、交付を受けたのは八千代地区自治会、勝山自治会、上豊間根自治会、石峠地区自治会、荒川地区振興会の5団体。式には各団体の代表10人が出席し、沼崎喜一町長から交付書とハンド型メガホンなどを受け取りました。同事業は平成18年度から3年計画で実施され、毎年町内の自治会や自主防災会に防災資機材を交付。計画の最終年度となる今回の交付で、町内すべての地区に防災資機材の配備が完了しました。



## 荒川地区振興会が設立20周年 郷土の歴史を盛大に祝う

荒川地区振興会（佐々木 良一 会長・238世帯）が設立20周年を迎え、2月15日に記念式典が行われました。会場の荒川小体育館には地区民ら400人が来場。式に先立ち佐々木会長が「平成元年の設立以来、まずは郷土を愛する心を守るため荒川念仏剣舞の復活に着手し、自分たちの手で成し遂げた。今後も自主、自立をモットーに地区一体となって取り組んでいきたい」とあいさつ。沼崎喜一町長と昆暉雄議長の祝辞に続き、荒川念仏剣舞の復活に貢献した方やスポーツで優秀な成績を修めた生徒ら9人が表彰されました。式典終了後は地区ごとに踊りや歌などが披露され、20年の歴史を盛大に祝いました。

## 「かき小屋」がオープン 新鮮なカキやホタテを堪能

2月1日、山田町観光協会（大杉繁雄<sup>しげお</sup>会長）が運営する「かき小屋」がオープンしました。開店初日となるこの日、町水産センターの施設を利用した店舗には町内外から44人が訪れました。かき小屋では殻付きカキの蒸し焼きが45分間食べ放題で提供され、別売りでホタテも焼いて食べることができます。訪れた人は山田産の新鮮なカキやホタテの濃厚な味わいを堪能していました。

かき小屋は3日前までの予約が必要ですが、5月10日まで土・日曜、祝日限定で営業します。

